

# 特集 ともに育つ、ともに育む

問合せ 発達支援課 ☎ 975・1588



旧はったばた幼稚園跡地（梅名）にある三島市児童発達支援事業所「にこパル」は、令和3年4月から錦田こども園内に移転します。錦田幼稚園・錦田保育園と同じ園舎になり、また「発達支援センター」と「にこパル」が同じ敷地内になることで、次のような効果が期待できます。

## ソーシャル・インクルージョンを体現する施設を目指す

ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）は、「**全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う**」という理念です。

子どもたちの**多様性を認め**、どのような状況にある子どもであっても、健やかに等しく成長できるよう**地域全体で連携し支援し見守って**いかなければなりません。

錦田幼稚園・錦田保育園・児童発達支援事業所が同じ場所でもに過ごすことにより、将来的に、子どもや保護者、職員等がソーシャル・インクルージョンの考えや多様性について理解を深めていく、**三島市におけるモデル的な施設**となることを目指しています。

## 支援体制の強化

発達支援センターの「**相談部門**」と児童発達支援事業所「にこパル」の「**支援部門**」が錦田こども園内で事業を行うことで、**連携**が取りやすくなり、にこパルを利用している子どもたちやその保護者に対するより**きめ細やかなサービス**が可能となるなど、サービスの充実が期待できます。「**早期発見・早期療育**」の観点から発達に困難さを抱え、支援を必要とする人に寄り添った支援体制づくりを目指します。

## 幼稚園・保育園との連携

**活動の様子を日頃から目にする**ことで互いの理解を深め、将来的に子どもたちがそれぞれの行事や自由遊びで**交流する機会**を持つことや、**保護者や職員の情報交換、職員が研修会等を合同で行う**などの連携を図りたいと考えています。

ぼぼんちゃんは平成24年に誕生した発達支援課のキャラクターです。わたぼうしパパ・わたぼうしママの愛情をたっぷり受けて、つぼみちゃんとともに日々成長しています▶



## つりがねにんじんクラブ 園芸

パサディナ自治会内



◀受賞花壇。花苗の半数は自家生産苗で花の色合い、高さなどバリエーションのある立体的な花壇である点、昨年の長雨～酷暑期でもよく手入れされていた点が評価されました

## 実績

- ▶第30回全国花のまちづくりコンクール  
団体部門 [花のまちづくり優秀賞]
- ▶令和2年度ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール  
地域花壇部門（100平方メートル以上） [優良賞]

## メンバー

- 【前列左から】山田弘子、笹沼恵、宮ノ入公子、関谷孝子（会長）、山口敦子、藤井由美、芳形雛子、山口誠二  
【後列左から】松田文雄、久慈道正三、岡野茂一、木村正、橋本勝夫  
【写真掲載なし】岡村美千代

## コメント

今後も各方面の方々にご指導をいただき、「手入れの行き届いた美しい花壇」、「町内の人や道行く人を楽しんでいただける花壇」を目指し、クラブ員一同、協力して楽しく活動していきます。

## 巻井真理子 料理コンクール

Mariko Makii

専業主婦

- ▶第21回シーフード料理コンクール  
お魚料理チャレンジ部門  
[日本放送協会会長賞]



日頃から様々な料理コンテストに挑戦し、全国大会に出場するのは3度目です。このコンクールは10年ほど前から挑戦し続けており、今回、入賞できたことで、諦めずに挑戦し続けることの大切さを実感しました。



◀受賞レシピの「鮭牛乳土手煮丼」  
鮭とキャベツの甘みを引き立てる甘味噌味に惹かれる家計にやさしいレシピです

## 霜出夏希 英語ポスタープレゼンテーション

Natsuki Shimoide

三島北高校3年

- ▶2020年度全国高校生フォーラム  
英語ポスタープレゼンテーション  
[生徒投票賞]



植物が持つ浄水作用を用いてトイレの汚水を処理する方法を、災害時の避難所のトイレに導入することを提案する研究を評価していただき、うれしく思います。研究にご協力いただいた危機管理課の皆さんに感謝します。

【研究内容】  
植物の浄水作用により各戸の汚水を浄化し湖に流す、カンボジアの簡易トイレの仕組みを日本の既存の避難所のトイレ施設に組み込み、さらに水を循環させる設計を試みるとともに、種類の違う植物の汚水処理作用や設置費用を検証した。